

資生堂、ブランド「SHISEIDO」のイノベーションを機に、
「BEAUTY CROSSING GINZA ～銀座+ラ・モード+資生堂～」を開催

資生堂が世界 88 の国と地域で展開するブランド「SHISEIDO」は、2016 年 1 月よりブランドイノベーションを推進し、ブランドの新しいストーリーと未来づくりの一環として、ロゴの中にブランドのこころである「GINZA TOKYO」を加え、東京・銀座発のブランドとして、また資生堂のアイデンティティーを最も受け継ぐブランドとして生まれ変わります。

これを機に、銀座に位置する「資生堂ギャラリー」、「資生堂パーラー」、「SHISEIDO THE GINZA」、「資生堂銀座ビル」の 4 つの文化発信拠点にて、資生堂とブランド「SHISEIDO」のシンボルである「花椿マーク」、そして「銀座」をテーマとする連動企画「BEAUTY CROSSING GINZA ～銀座+ラ・モード+資生堂～」を、2016 年 1 月 8 日(金)から 3 月 15 日(火)にかけ開催します。

本企画では、生まれ変わるブランド「SHISEIDO」の世界観を表現するとともに、ブランドのメッセージにインスパイアされ制作されたアート作品や、銀座の街と当社がメーク、ファッションの文化を生み出して来た証である歴代の商品や広告、「花椿マーク」などを展示します。



新「SHISEIDO」ブランドロゴ



「花椿マーク」



新「SHISEIDO」
アルティミューンの広告ビジュアル

「BEAUTY CROSSING GINZA ～銀座+ラ・モード+資生堂～」
タイトルロゴ

企画概要と開催期間

拠点名	企画概要	1月	2月	3月
資生堂 ギャラリー	銀座の街、女性像の移り変わりと資生堂	1/8-28		
資生堂 パーラー	昭和初期の「花椿マーク」入り食器類	1/8 - 3/15		
SHISEIDO THE GINZA	「花椿マーク」をモチーフにした店頭ディスプレイ	1/8 - 3/15		
資生堂 銀座ビル	「花椿マーク」100年の歴史を物語る現代絵巻「百花椿図」	1/8 - 3/15		

「資生堂ギャラリー」

生まれ変わるブランド「SHISEIDO」の世界観と「共感」にインスパイアされた新たなアート作品、資生堂の商品や広告、銀座の街を、立体コラージュとして展示します。

<テーマとみどころ>

- ① 文明開化と鹿鳴館スタイル
・井澤由花子氏※1 書き下ろしの各時代のファッションイラストを踊り場、壁面に投射
・煉瓦街の錦絵
- ② 銀ブラとモボ・モガ
・『モデルノロヂオ』(今和次郎/吉田謙吉著)など、当時の風俗がわかる貴重な資料(i Padで閲覧)
・『資生堂グラフ』、ウインドバックポスターなど
- ③ 東京オリンピックとみゆき族
・『銀座界限 アルバム・銀座八丁』(木村荘八著)に収められた 1950 年代の銀座のパノラマ写真
・Lip art のウインドーディスプレイ模型
・勝又公仁彦氏※2 撮りおろしの銀座のトリプティック写真
- ④ SHISEIDO GINZA TOKYO
・ブランド「SHISEIDO」のメッセージからインスピレーションを得て、ロバート・モンゴメリー氏※3 が制作したアート作品と、新「SHISEIDO」アルティミューンの広告ビジュアル



① 井澤由花子氏
イラスト作品



② 「モデルノロヂオ」



③ 勝又公仁彦氏
写真作品



④ ロバート・モンゴメリー氏
作品

- 会期:2016年1月8日(金)~28日(木) 入場無料
- 開館時間:火~土 11:00~19:00 日曜・祝日 11:00~18:00
- 定休日:月曜日 ※月曜日が祝日にあたる場合も休館
- 住所:東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル 地下1階
- TEL:03-3572-3901

「資生堂パーラー」

昭和初期の「花椿マーク」入り食器類を1階に展示します。

- 会期:2016年1月8日(金)~3月15日(火)
- 営業時間:11:00~21:00
- 定休日:無休 ※2016年2月15日(月)はビルメンテナンスのため休業
- 住所:東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル 1階
- TEL:03-3289-2099(株)資生堂パーラー 広報グループ)

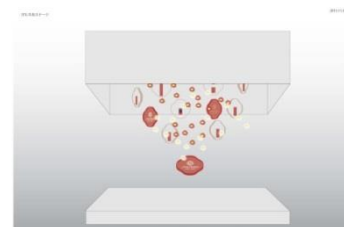


「花椿マーク」入りの食器

「SHISEIDO THE GINZA」

「花椿マーク」をモチーフにした店頭ディスプレイを展示します。

- 会期:2016年1月8日(金)~3月15日(火)
- 営業時間:11:00~20:00
- 定休日:不定休
- 住所:東京都中央区銀座 7-8-10
- TEL:03-3571-7735



「花椿マーク」モチーフの中央ステージ展示イメージ

「資生堂銀座ビル」

「花椿マーク」100年の歴史を物語る現代絵巻「百花椿図」を展示します。

- 会期:2016年1月8日(金)~3月15日(火) 入場無料
- 開館時間:10:00~19:00
- 定休日:土曜日・日曜日・祝日
- 住所:東京都中央区銀座 7-5-5 資生堂銀座ビル 1階~3階
- TEL:03-3575-5431(株)資生堂 企業文化部)



資生堂製鏡台留具(百花椿図より)

※1 井澤由花子(いざわ ゆかこ)氏

東京都出身。2005年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒。水彩画家、イラストレーター、デザイナー。水と人の関わりに深く関心があり、その作品では、幻想と日常の揺らぎの世界を表現。主な展覧会に「ミズオト」(ギャラリー青猫、2015年)ほか多数。損保ジャパン美術賞 審査員特別賞受賞(2015年)

※2 勝又公仁彦(かつまた くにひこ)氏

静岡県出身。早稲田大学法学部卒、インターメディウム研究所修了。写真家。「都市の無意識」(東京国立近代美術館、2013年)他、展覧会多数。「時間」「光」「場所」をテーマに、写真の構造を意識した作品を制作。「日本写真協会新人賞」(2005年)受賞。

※3 ロバート・モンゴメリー氏

ロンドンを拠点に活動。ヨーロッパを中心としたアート施設で作品を展示。一般の人々に向けて自身のメッセージを届けるため、広場や公共のスペースでもポエムを展示、発表することを好む。黒の背景に白い文字というシンプルな作品には、人々の潜在意識に問いかける言葉や、彼自身が抱く疑問、共感を題材とした文章が書かれている。

【ご参考】

銀座の街と資生堂の関わりについて

銀座は明治の文明開化以来、流行に敏感で趣味や創造性の高い商品とその情報を日本全国へ発信し、人々の新しいファッションを生み出すとともに、時代の先端的なライフスタイルを反映してきた街です。また、今日でも日本の流行と文化の発信地として国内外から多くの人を引き寄せ、2016年には複合商業ビルが竣工予定であるなど、これからも変化する街です。

資生堂は、銀座に煉瓦街の建設が始まった1872年(明治5年)に、日本初の洋風調剤薬局として創業し、新しい生活文化を銀座から世の中に発信してきました。今から100年前に生まれた資生堂化粧品部(「SHISEIDO THE GINZA」の前身)、「資生堂パーラー」、「資生堂ギャラリー」は、銀座における当社の文化発信拠点としての役割を担ってきました。

「花椿マーク」について

資生堂の初代社長である福原信三が1915年に原案を考え、1916年に設立した意匠部(現在の宣伝・デザイン部)のデザイナーたちが資生堂を象徴するマークとして確立させました。流麗な曲線や唐草を用いた女性像で資生堂スタイルを創りあげた山名文夫は、「資生堂のデザインポリシー」(1971年)のなかで、「企業ポリシーの視覚の原点となるもの、それは、マークとロゴタイプである。これこそ一世紀にわたる資生堂のあらゆる努力のシンボルである。良心のシンボル、資生堂的心情のシンボルである。」と語っています。「花椿マーク」は、そのデザインの進化を繰り返しながら、資生堂のシンボルとして現在も受け継がれています。

ブランド「SHISEIDO」について

世界88の国と地域で展開する「SHISEIDO」は、「美しさは世界をよりよくする力である」という信念のもと、「共感」をキーワードに、お客さまへブランドの新しいストーリーと未来を届けていきます。

変化が激しい現代、都市化・グローバルズムが進む世界においては、「美」は、さまざまな問題と向き合う自信を与え、またそれ自体が生きるパワーであり、さらに人と人がつながるきっかけでもあります。そして多様な美のあり方を認め、互いの美を尊重するとき、「共感」が生まれると「SHISEIDO」は考えます。

世界中のお客さまとの間に「共感」を生み出すため、商品や宣伝ビジュアル、モデル、店頭カウンター、ブランドロゴなどを2016年1月より順次刷新し、東京・銀座発のブランドとして生まれ変わります。

また、資生堂のアイデンティティーを最も受け継ぐブランドとして、資生堂のシンボルである「花椿マーク」を積極的にブランドコミュニケーションに活用していきます。

「資生堂 アルティミューン」について

ブランド「SHISEIDO」の象徴となるアイテムとして、2014年9月に「資生堂 アルティミューン パワライジング コンセントレート」を世界各国・地域において本格販売を開始しました。「肌本来の力を引き出す」という新発想のもと、長年の皮膚科学研究をベースに開発された美容液は、発売当初より世界各国の多くの方々から好評を得ています。

2015年9月には、美容液に次いでニーズの高い目もとケアカテゴリより「アルティミューン パワライジング アイコンセントレート」と、「アルティミューン パワライジング コンセントレート」のレフィルを発売しています。

日本国内ではデパート約230店、資生堂の総合美容サイト「ワタシプラス」、「SHISEIDO THE GINZA」で販売しています。

【商品一覧】

※表示価格は希望小売価格です。

商品名	分類	容量	価格
資生堂 アルティミューン パワライジング コンセントレート	美容液	30mL	8,000 円 (税込 8,640 円)
		50mL	12,000 円 (税込 12,960 円)
資生堂 アルティミューン パワライジング アイ コンセントレート	美容液 (目もと用)	15g	7,000 円 (税込 7,560 円)
資生堂 アルティミューン パワライジング コンセントレート (レフィル)	美容液	50mL	11,500 円 (税込 12,420 円)

《限定商品》

2016年1月1日(金)より、全国のデパートの「SHISEIDO」カウンターと「SHISEIDO THE GINZA」にて、「資生堂 アルティミューン パワライジング コンセントレート キット」(希望小売価格:税抜 7,000 円~12,000 円)※4を数量限定で発売します。

※4 花椿マークとブランドカラーの赤をモチーフにしたオリジナルミラーに、「資生堂 アルティミューン パワライジング コンセントレート」30mL、50mL、レフィル 50mL、および「資生堂 アルティミューン パワライジング アイ コンセントレート」のいずれかの商品を組み合わせた限定セットです。



「資生堂 アルティミューン パワライジング コンセントレート キット」